

1991年～2006年

『東商婦人』創刊から『東商LADY』第10号までの歩み
15年で育まれた活動の報告と情報の発信紙・誌

平成3年第一次平成不況の中『東商婦人』は東商婦人部の活動、その年の方針などを会員の皆様と多くの商工会議所会員への伝達、婦人部会員相互の情報交換など、コミュニケーション・ツールとして、「女性の時代」のパイロットとしての役割を担って産声を上げました。
年一回発行されてきた『東商婦人』は12号をかぞえ、その間には東商婦人会「45周年」「50周年」の活動報告を掲載、そのつど新しい活動の方向を紙面に展開してきました。紙面に登場した皆様は、当時の会頭をはじめ経済界、スポーツ界の著名人、文化人など、多くの方々から声を

お聞きすることができました。
また、会員の紹介や声を取り上げるなど、参加していただいている女性会員の実情を語る場も設けてまいりました。
この号で『東商LADY』が10号を迎え、東商女性会の活動を歴史の記録として残し、会員の声と情報を共有できる誌面づくりが求められています。『東商LADY』が東商女性会会員だけでなく、全国の女性会の皆様、そして新たに参加される女性経営者の皆様への情報を発信する役割を担っていくと確信しています。

『東商婦人』から『東商LADY』へ

東商婦人 創刊号



東商婦人 第2号



写真提供：飯島モト子常任顧問

1992 (平成4年)

8.31



東商婦人 第3号

1991 (平成3年)

4.30



東商婦人 創刊号

12.20



東商婦人 第2号



第25回全商婦連盛岡大会

東商女性会関連の出来事

- 全国商工会議所婦人会連合会アメリカ視察研修会実施
- 甲府市で第7回関商婦連総会開催
- 第23回全商婦連富山大会開催
- 富士市で第8回関商婦連総会開催
- 全員参加の活動を目指し3委員会に属する6分科会を新設
- 第24回全商婦連松山大会開催

東商・世界・日本の出来事

- 会員数7万件を突破
- 湾岸戦争

1993 (平成5年)

1.10



東商婦人 第4号

1993 (平成5年)

- 稲葉興作氏が第18代会頭に就任
- 連立政権成立、平成不況

1992 (平成4年)

- 日本流処理技能マスター認定制定発足
- PKO法成立

1991 (平成3年)

東商婦人5号 渡辺光子

東商婦人会はこの年に新しい組織でスタート。それを機に会報紙「東商婦人」も大きなイメージチェンジをすることになりました。新役員体制、政策・研修・イベント・PR・社会問題研究の5つの分科会に再編され、新体制のご挨拶、会員の皆様から体験談などを執筆していただきました。また元検事の堀田力氏(さわやか福祉財団理事長)の事務所まで伺い「高齢社会のくらしと経済」というテーマで取材をしました。「助け合い」は生物生存の基本ですからね、という言葉が印象に残っています。

- 東京商工会議所の定款の中に婦人会組織が正式に位置づけられる
- 日立市で第9回関商婦連総会開催
- 第25回全商婦連盛岡大会開催

1997 (平成9年) 1996 (平成8年) 1995 (平成7年) 1994 (平成6年) 1993 (平成5年)



1.21 東商婦人 第9号



1.23 東商婦人 第8号



5.12 東商婦人 第7号



5.20 東商婦人 第6号 45周年記念号



11.20 東商婦人 第5号

東商婦人9号、10号は飯嶋副会長(当時)のご指導をいただき、25名の広報部会員で取り組みました。東商婦人会50周年をひかえて対外的に婦人会活動のPRに関しては、東商婦人ほかに「FUN」通信を3回発行、情報を流しました。全メンバーからは自由にご意見を戴き、打ち解けた話し合いの中で進めてまいりました。東商婦人会50周年の企画概要のほか「アイドリングストップ運動」の提案、環境に関する作文・絵画コンクール、インターネット勉強会など、当時としては画期的な取り組みでした。各界著名の8名の方々にはメンバーが対して対応し、二年を展望していただき、内容も豊になりました。「私のほっとタイム」のインタビューも紙面を和ませてくれました。会員の事業紹介・新入会員の紹介もはじめてまいりました。

東商婦人5号、8号 福原美里
編集という作業は、仕事とは関係のない初めての事なので、文字組や段組、レイアウトなどの紙面構成が私自身の勉強となりました。この広報という場で得た知識・ノウハウは、担当をさせていただいた2、3年後につくったB4判の「かわら版」(会社社顧客あて)作成のきっかけ、よいヒントになったと思います。「知っておいてよかった」というのが感想ですね。すぐ役に立ちました。広報での経験がこの自社の「かわら版」を出す勇気を生み出してくれたのだと思います。

東商婦人6号 渡辺光子
この号は「東商婦人会45周年記念」号となりました。45周年記念式典に配布するという事で、小泉清子会長(当時)のご挨拶にあわせて当時の東京都知事鈴木俊一氏、東京商工会議所会頭の稲葉興作氏からお祝いのお言葉をいただきました。最も大変な作業が「45年の歩み」の年表作りでした。節目、節目の写真の収集を先輩会員からお借りしたり、その当時のお話を聞かせていただくなどの協力をいただき、制作費が足りなそうだとということ、東商会員企業24社に広告を出していただき、制作費に充当して出来上がりました。
記念座談会として「女性経営者に期待する」というテーマで当時の(株)セゾンコーポレーション会長の堤清二氏、多摩大学学長の野田天氏、テレビ東京解説員の篠原文也氏、マンガ家の美内すずえ氏と、内容の濃い討論が展開されました。司会は吉川稲美副会長(現)が務めました。ほかに45周年に因んで「企業ボランティアのあり方」「会員の声」など、盛りだくさんの記事内容になりました。
最後にこの会報が出来上がる直前にトラブルがあり、記念式典の当日に届いたという出来事があり、大変苦労の多い作業でした。しかし担当したメンバーの団結と達成感を味わえた経験は、今でも思い出に残っています。担当したメンバー一同、大変でしたが頑張りました。

- 東商婦人9号、10号は飯嶋副会長(当時)のご指導をいただき、25名の広報部会員で取り組みました。東商婦人会50周年をひかえて対外的に婦人会活動のPRに関しては、東商婦人ほかに「FUN」通信を3回発行、情報を流しました。全メンバーからは自由にご意見を戴き、打ち解けた話し合いの中で進めてまいりました。東商婦人会50周年の企画概要のほか「アイドリングストップ運動」の提案、環境に関する作文・絵画コンクール、インターネット勉強会など、当時としては画期的な取り組みでした。各界著名の8名の方々にはメンバーが対して対応し、二年を展望していただき、内容も豊になりました。「私のほっとタイム」のインタビューも紙面を和ませてくれました。会員の事業紹介・新入会員の紹介もはじめてまいりました。
- 静岡市で第12回関商婦連総会開催
- 第28回全商婦連別府総会開催
- アイドリングストップ運動の提案
- 甲府市で第13回関商婦連総会開催
- 第29回全商婦連松江大会開催
- 阪神・淡路大震災義援金を寄付
- 横浜市で第11回関商婦連総会開催
- 第27回全商婦連大阪大会開催
- 東京全日空ホテルで創立45周年記念式典開催
- 日光地区(日光市)で第10回関商婦連総会開催
- 第26回全商婦連岡山大会開催

1997 (平成9年) 1996 (平成8年) 1995 (平成7年) 1994 (平成6年) 1993 (平成5年)

- 中小企業の情報化支援のための「東商ビジネスネット」事業を開始、会員向け福利厚生サービスClubCCI「パフェプラン」がスタート
- 消費税5%に引き上げ
- 10万会員体制の実現を目指して会員増強運動スタート
- ベンチャー総合支援事業開始
- EU英国産牛肉全面禁輸入決定
- 初の会員大会(商工会議所制度発祥120周年記念式典)を東京ドームで挙行、東京商工会議所宣言を採択
- 阪神・淡路大震災、地下鉄サリン事件
- 会員のための研修・交流施設「蓼科フォーラム」がオープン
- 円が1ドル1100円を突破

『東商婦人』から『東商LADY』へ

2001 (平成13年) 2000 (平成12年) 1999 (平成11年) 1998 (平成10年)



山口信夫日商・東商会頭(旭化成株式会社社長)より「健康な日本の創造を目指して」と題したご挨拶と、女性経営者が持つ豊かな感性とバイタリティーあふれる行動力が新世紀を担う原動力になる、との励ましの言葉に感激。また、斎藤朝子会長から「濃として変革の力」を寄稿頂き、パワーアップ2001の組織基盤強化が発表されました。



東商園遊会



第32回 全商婦連横浜大会



東商婦人 第10号 小林栄子

「時代の流れを取り入れ、内容を少し変更していこう」という事、さらに婦人部をPRして「東商婦人部50周年」に向けて会員募集を行い、若い人たちと交流したい、という思いを持って小泉清子会長(当時)よりの提案もあり、新しい広報紙になるように工夫をしました。小泉清子会長(当時)の「本音」でことある。経営者が「本音」で付き合う。というテーマを示してくださり、皆さんから原稿をいただきました。50周年の記念事業が終わり、新体制がスタート。この時期には3分科会ができ、会員の活動充実を紙面でお伝えしてきました。こうして、前向きな女性会の歩みをつくるという考えが、広報紙の充実につながったと思われまます。

「東商婦人」から『東商LADY』へ
情報広報委員・井上象英
当時私は、交流・広報担当委員長でした。常任理事と言いつつ任をお受けして、始めての会議に於いて委員長としての広報活動計画「3つの指針」を提案させて頂きました。其れは ①会員相互の交流を図る ②女性会のデータバンク化 ③女性会の広報PR活動です。
創立50年を迎えたこの年、齋藤会長のもと「新生女性会」として対外的にも様々な取り組みを検討するに当たって「心と心をつなぐ」プロジェクトを立ち上げたのです。
企画案には「東商女性誌」年2回(春秋)の発行がありました。この時のテーマは「情報の記録と反映」です。会員相互の意見を反映させ、委員会全員で作上げる予定でした。当時は交流委員会も同時に担当していたので、新年会や旅行会、関商婦連(当時の呼称)などと企画進行事項が多岐にわたり、広報への検討委員会そのものが紛糾してしまつことも多く、68名の委員全員で取り組むことは大変難しかったです。そこで考えたのが、広報分野に明るい人材、そして広報活動に興味のある委員を自薦他薦で募集したのです。
つまり、交流・広報委員会を交流グループと広報グループに分ける提案をしたわけです。有難いことに有志が13人も集まりました。しかし皆様は自社の職業分野では無いため、編集や印刷に関しては専門家を、と言う結論に達しました。そこで、広報グループの委員のご紹介でボランティア現に富んだ編集会社(当時は予算が少なかつたので)にご協力を求めました。企画・取材記事の執筆、写真など、委員は全てが新鮮な体験でした。

東商女性会関連の出来事

- 前橋市で第14回関商婦連総会開催
- 第30回全商婦連千葉(幕張)大会開催
- 熱海市で第15回関商婦連総会開催
- 第31回全商婦連高知大会開催
- ホテルニューオータニで東商婦人会創立50周年記念事業及び国際女性経営者フォーラムを開催

- 成田市で第16回関商女性連總會開催
- 第32回全商婦連横浜大会開催
- 斎藤朝子会長のもと新生女性会スタート。小泉清子前会長は名誉会長に
- 「婦人」の文字を「女性」に変更
- 浦和市で第17回関商女性連總會開催
- 東商女性会会員増強推進運動パワーアップ2001実施
- 第33回全商女性連岐阜早大会開催

東商・世界・日本の出来事

2001 (平成13年) 2000 (平成12年) 1999 (平成11年) 1998 (平成10年)

- 太平洋経済委員会(PBEC)東京国際総会を開催、教育支援ネットワークを開設
- アメリカ同時多発テロ事件、中国WTOに正式加盟
- 山口信夫氏が第19代会頭に就任

- 東商テクノネット事業開始
- 九州/沖縄サミット、有珠山・三宅島噴火

- 会員数10万件突破、福祉住環境コーデイナー検定試験を創設
- EU単一通貨ユーロ11ヶ国に導入

- 東商M&Aサポートシステム開始、生活・福祉環境づくり21を設立
- 長銀戦後初の民間銀行国有化、長野オリンピック(冬期)

2005 (平成17年)	2004 (平成16年)	2003 (平成15年)	2002 (平成14年)
<p>4.1</p>  <p>東商LADY 第8号</p> <p>新体制のスタートを特集。第36回全国商工会議所女性会連合会東京総会を総力を上げて取材。小泉清子全商女性連会長退任の挨拶、記念座談会を誌上にて再現。「ぶらり東京の旅」連載開始。この号からメディアに登場した会員の紹介コーナーを開設しました。</p>	<p>4.1</p>  <p>東商LADY 第6号</p> <p>特集は関東商工会議所女性会連合会・東京商工会議所女性会共催の「筑紫哲也氏講演会」に、ジャーナリストとしての立場からグローバルな時代に緩急自在の生き方を提言して頂きました。</p>	<p>4.15</p>  <p>東商LADY 第4号</p> <p>スペシャルコーナーは「人に歴史あり」です。ご登場は、小泉清子名誉会長。その沿革を求めて取材をさせて頂き、(株)鈴乃屋の歴史をたっぷり語って頂きました。</p>	<p>4.5</p>  <p>東商LADY 第2号</p> <p>スペシャル特集「歴史を語る」で、座談会を企画。小泉清子名誉会長はじめ飯嶋モト子常任顧問、谷静子相談役、齋藤朝子会長にご出席頂き、伝統ある女性会の歴史と楽しい思い出をお聞かせ頂きました。</p>
<p>10.1</p>  <p>東商LADY 第9号</p> <p>東商女性会少子化問題委員会発足を巻頭記事に。関東商工会議所女性会連合会東京総会、パワーアップ05-07などの活動報告が満載。関東商工会議所女性会連合会東京総会での石原東京都知事の特別講演を掲載。</p>	<p>10.1</p>  <p>東商LADY 第7号</p> <p>今号は、創立55周年記念事業にスポットを当て、「東商女性会55年の歩み」全体を構成編集。また、今後の女性会活動に向け、齋藤朝子会長と吉川稲美副会長を囲んだ座談会も掲載しました。</p>	<p>10.1</p>  <p>東商LADY 第5号</p> <p>広報委員も蓼科フォーラムのセミナー(一泊二日)に参加して取材記事を掲載。会場にパソコンを持ち込み、初めて同時取材をしました。この号から、編集の基礎データが決まり、今日のスタイルになりました。</p>	<p>10.5</p>  <p>東商LADY 第3号</p> <p>経営問題委員会の活動特別レポート「女性経営者の資金調達」に的を絞った取材が大変好評。また、社会問題委員会での研究テーマ「食育」では提言内容も折り込まれ、研究の成果が大いに評価されました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○少子化問題委員会発足 ○東京で第21回関東女性連総会開催 ○第37回全商女性連名古屋総会開催 ○東商女性会会員増強推進運動パワーアップ2005'07実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○関東女性連・東商女性連共催で筑紫哲也氏講演会開催、創立55周年記念事業開催 ○第20回関東女性連総会開催 ○第36回全商女性連東京総会開催 ○関東女性連と共催で宮尾登美子氏講演会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○蓼科フォーラムで2泊3日セミナー開催 ○組織再編で現在の3担当制になる ○宇都宮市で第19回関東女性連総会開催 ○第35回全商女性連青森大会開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○土浦市で第18回関東女性連総会開催 ○第34回全商女性連福岡大会開催、「女性起業家大賞」創設 ○社会問題委員会「食育」について提言
2005 (平成17年)	2004 (平成16年)	2003 (平成15年)	2002 (平成14年)
<ul style="list-style-type: none"> ○メキシコ経済連携協定(EPA)発効に伴う特定原産地証明書が発給を開始 ○日本国際博覧会(愛知万博) 	<ul style="list-style-type: none"> ○アテネオリンピック ○「メンバーズビジネスローン」開始 	<ul style="list-style-type: none"> ○江戸開府400年事業「オープニングセレモニー」開催、東京都中小企業再生支援協議会を設置、第一回「勇気ある経営大賞」受賞企業を表彰、月刊情報ガイド「ツインアーチ」創刊 ○イラク戦争、日本郵政公社発足 	<ul style="list-style-type: none"> ○東商政策フォーラムを初開催、中小企業顕彰制度「勇気ある経営大賞を創設」 ○欧州単一通貨ユーロ流通開始、2002 F I F A ワールドカップ開催

会長・副会長の挨拶と今後の方針



さらなる「躍進」をめざして

会長 齋藤 朝子

2006年を迎え、皆様は気持ちも新たに今年も前向きに、公私ともに張り切っておいでのことと存じます。

昨年わが国では、子供の出生率が過去最低を更新するとともに、総人口が初めて減少するなど、これまで経験したことのない少子高齢化そして人口減社会に突入いたしました。

さらに経済のグローバル化、高度情報化など社会経済情勢が急速に進展するなかで、女性を取り巻く環境も急激に変わり、女性の活躍が必須の状況になってまいりました。

東京商工会議所活動の一翼を担う組織として位置付けられている東商女性会としても、女性の視点からの意見具申や政策提言等の活動をより一層強化し、男女共同参画社会に相応しい社会の実現に向けて皆様と共に努力してまいりたいと存じます。

昨秋、ジェトロ厚生会主催の中国視察ミッションがあり、全国の女性会の方々とともに私も团长として参加いたしました。中国では私企業が認められてから僅か十数年の間に、全経営者の約20%を女性が占める状況となっていたことには大変驚かされました。現在の日本では僅か5%です。

日本の女性が持つポテンシャルを發揮し、活躍することができるとして、今後とも皆様のご意見やご提案を取り入れつつ、さらなる躍進を目指して参りたいと思っております。



今こそ女性経営者の活躍を

副会長 吉川 稲美

この度の耐震偽造やライブドアなどの一連の事件に象徴されるように、今、経営者がどの事件に象徴されるように、今、経営者がどのような「目的」を持ち「何を座標軸にして価値判断をするのか」経営トップのリーダーシップや、経営理念・企業倫理が問われております。

女性会の活動を通してお互いに交流の輪を広げながら、また学びあいなから「女性の特質」を生かした活動が出来ましたらと思っております。その為にも一人でも多くの会員の皆様に積極的に女性会の活動に参加して頂き、幅広い意見を集約し、女性会の力として發揮していくこと、そして私が担当しております少子化問題委員会におきましては実効性のある提言をまとめ、政策への反映をも目指したいと思っております。

健全なる女性経営者の力を結集させて参りましょう。本年度もどうぞよろしくお願ひ致します。



2006年活動思考—女性役員のパワーを

副会長 山崎 登美子

本年も輝かしい年をお迎への事とお喜び申し上げます。

昨年より東商女性会は組織基盤強化のためのパワーアップ運動を行っております。私は文京区、足立区、台東区、北区を担当しておりますが、各地区会員皆様の意欲的な活動で、少しずつ成果が現れているように思われます。本年も引き続き気持ちのこもった行動をして、運動を盛り上げたいと考えています。各地区の皆様にも益々積極的なご協力をお願いいたします。いま各地区の新年会や役員、会長もお考えの地区女性役員増強活動です。今年も引続き活動の新年会や役員、会長もお考えの地区女性役員増強活動です。いま各地区の新年会や役員、会長もお考えの地区女性役員増強活動です。今年も引続き活動の新年会や役員、会長もお考えの地区女性役員増強活動です。今年も引続き活動の新年会や役員、会長もお考えの地区女性役員増強活動です。

今年も皆様と力を合わせて一生懸命活動させて頂いております。何卒ご協力をお願い申し上げます。

魅力ある、開かれた女性会を皆様と共に

副会長 山野 壽子



昨年より組織基盤強化活動がスタートしました。会員を増やすことは、組織の強化や事業の充実した強固な女性会を実現していくステップです。そのために、会員の皆様は『交流』『研修』『情報・広報』の三委員会へ、積極的に参加していただく事が不可欠となります。多くの方が参加していただける「魅力ある、開かれた女性会」を皆様と共につくっていきたく思います。微力ではありますが、その為のお手伝いをさせていただきますと思っております。皆様、まず会員の交流からはじめませんか？そしてネットワークを広げましょう。是非、一緒に活動へ参加してください。

「日本経済は、ゆっくりではあります、しつかりとした回復へ向かっている」という政府からの発表がありました。この回復が確かなものとなるように、女性の持つパワーを大いに発揮していきましょう。この1年、どうぞよろしくお願い致します。

二十一世紀の社会に向けて

副会長 安間 百合子



戦後六十年、還暦を迎えた日本は経済的には確かに豊かになりましたが、想像を絶するような事件・犯罪が多発している現状を考えると、この六十年で私達の心性から大事な部分が抜け落ちてしまったのではないかと憂慮しております。この欠落を何とかして埋めてゆくのも私達に課せられた使命の一つではないでしょうか。

さて、予想よりも早く人口減少の時代に入ってしまったが、この国を再活性化すべく、次世代育成のための支援に今こそ真剣に取り組まなければならぬと思います。女性会としては昨年度立ち上げた少子化問題委員会を更に充実させることは勿論、昨年施行された「食育基本法」に基づく健全な食生活に向けての改革を推進してまいりたいと思えます。東商女性会があらゆる面で社会に貢献しうる存在になるよう、積極的に活動してまいりますので、会員の皆様には更なるご支援、ご協力をお願い致します。

企業間の連携で新しいビジネスチャンス

副会長 渡辺 光子



わが国の経済界、産業界、社会全体が「何かおかしい」「これからどうなるの」という感じがするなかで、最近のニュースで財界人や有識者が、お金は「汗水たらして」得るものだと口を叩いているのを聞きます。まさしく東商女性会の経営者たちは「汗水たらして」時間を惜しんで良く働き頑張っています。さらに東商女性会の活動にも惜しみない働きをしています。欧米では、社会貢献型企業がとても良い業績をあげていると聞きます。成熟社会に入ったわが国においても、人や環境にやさしい商品、質の高いサービスと情報、時代が求める人材などが求められています。一方で生活者が求めるニーズが多様化している昨今、企業同士が連携をとり、知恵やノウハウを出し合い、新しいビジネスを生み出していく時代が到来していると思えます。それを実現できるのが、わが東商女性会であると思えます。

組織基盤強化活動600会員を目指して

副会長 小林 栄子



新体制となりました会員の皆様は全力投球で組織基盤強化活動に協力の事、誠に素晴らしい姿勢であると思っております。

景気の歩みは着実なものとなりつつあると思いますが、一方で、中小企業は不安定な経営環境に居る様な気も致します。

しかし私達の東京には巨大なマーケット、優れた特長性があります。ネットワークを構築して女性会広場で交流を図り活発な強化活動をしていきたいと思っております。それには一企業ごとの体力の充実が大優先でないかと思えます。会員企業間連携の促進を計り目標会員数600以上を目指します。入会後は会活動に意欲をもって参加出来る女性会でありたいと思っております。日本の中心である東京の女性会として世界に飛翔して行きましょう。

「飛翔」は私の大好きな格言です。各企業の益々の活躍、発展を祈念し、会員皆様方には御自愛専一にお励み下さることを祈ります。

東京商工会議所女性会主催座談会

「女性の躍進が日本経済に与えるインパクト」



おとぎの国・東京デイズニールランドの入り口、舞浜駅。ここからほど近い株式会社オリエンタルランド本社会議室にて、平成18年2月3日、座談会がもたれました。

女性を活用していくことに特化した経営者として、それぞれの立場から、女性が躍進していくための視点と経営方針、社会のあり方、今後の日本経済への影響についてなど、多岐にわたり熱く語って頂きました。

出席者

株式会社オリエンタルランド

代表取締役社長兼CEO 福島 祥郎 氏

トレンダーズ株式会社

代表取締役 経沢 香保子氏

全国・東京商工会議所女性会会長

齋藤 朝子 氏

お客様に「ハピネス」を提供するハードとソフト

司会 福島社長のオリエンタルランドでは、女性の方が生き生きと働いていける環境づくりのために、何か特別な工夫をされていますか。

福島 私どもの会社では、1万

9,000人以上の社員がいます。

そのうちの約66%が女性です。私

どもの仕事は、通常の企業とは違い、「理想」、「非日常」の空間があります。その中でお客様のおもてなしをします。ハード面だけではなく、従業員の心配りがセットになった一つの商品です。ですから、入社したときにお客様に「ハピネス」いわゆる幸せを提供するのが、我々の仕事だということをまず社員の意識の中へ植えつけます。そこで、みんなと一緒に仕事をしながら動いていく、ジョブトレーニングが必要なんです。

また、自分に対する投資が必要です。それは、お客様にはいろいろな方がいます。絵が好きな方、器や花が好きな方。だから自分が



(株)オリエンタルランド
代表取締役社長兼CEO
福島 祥郎氏

女性の心をつかむ女性の視点

司会 経沢社長は、26歳で起業され、「女性の起業を支援する女性の創業塾」も開講されていますね。起業されたきっかけや、女性に関連したビジネスを展開される着想、それか

そのような知識を持っていないと対応できません。

来園されるお客様の70%強が女性です。女性に対する内面的な部分は女性のスタッフの対応がよく届くということはありませんね。

齋藤 私の仕事もサービス業ですから、いらっしゃるお客様のうち60%が女性のお客様です。多い月には60%になりますから、やはり女性の視点が大変重要だと思っています。



トレンダーズ(株)
代表取締役 経沢 香子氏名

ら原点などを教えていただけますか。
経沢 私は、会社を始めてまだ6年ぐらいです。最初は「株リクルー」に、「次に「株楽天」に勤務した後、起業しました。その頃は、マーケティングとかITブームだったので、私は逆にアナログでいいこうと思いい、女性の中でも、一番消費の影響が強いと言われていてF1といわれる層(20〜34歳)の人だけを集めて、その中でも、さらに可処分所得の高いトレンドリーダーの人だけをアナログでネットワークしました。現在、2,000人ぐらいいますが、その人たちが活用したマーケティングを中心にやっています。

また、女性の起業塾やネイリストの派遣など、女性の心をつかむビジネスを幾つか経営しています。現在、社員は20人で全員女性です。

現在、女性であることを楽しみなから、それをビジネスに活かす事ができる時代が来ていると思っっています。インフラよりもコンテンツの時代なんです。そういう意味では、女性であることがビジネス上有利に働く機会が、日本経済の中で非常に多くを占め始めているのではないのでしょうか。

福島 今までは、ものをつくって、機能をつくっていったんです。機能より今後はソフト。ソフトとは五感、デザインですよ。何となく見て気が持がいいとか、色などの女性の感覚が、これからは必要になってくると思いますね。

自己研鑽で女性経営者が力をつける

司会 齋藤会長は、神奈川県奥湯河原で「山翠楼」という老舗料亭旅館の経営のかたわら、東京商工会議所の特別顧問であり、女性の会長のとしていろいろとご尽力をいただいております。そういった立場もありますし、現在、女性の時代と言われ、女性経営者を取り巻く環境の変化もあると思います。そこで、最近



全国・東京商工会議所
女性会会長 齋藤 朝子氏

の女性経営者について伺いたいたいです。

齋藤 男女共同参画社会と言われて、制度もできていますが、現実としては、日本は女性の社会進出がまだまだ遅いです。今、女性の経営者は経営者全体の約5.6%です。中国の工業連合会へ行つて聞いたところ、女性の経営者が20%もいらつしゃって、家庭においても、男性がすごくサポートなさるのが日本とは違う面ですね。30代以上の世代では、日本の風土というか伝統によって、女性が働きにくい雰囲気でしたよね。それによって日本では、女性の社会進出が遅れてきたのではないのでしょうか。

しかし、見渡してみると、女性の教育水準は、世界でも大変高いほうだと思います。男女共に同じような

教育を受けられるようになりました。そういう環境を与えられていますから、なかなか進出できないというだけではなくて、自ら研鑽を重ねて実力をつけることが、女性の経営者にとって、一番大切なことではないかと思えます。

強い組織にしていくために、

女性をどう教育していくか

司会 今後、企業を強い組織にするためには、女性社員の比率の向上をはじめ、社員の構成に多様性を持たさなければいけないとよくいわれます。これについてはいかがですか。

福島 女性と男性の組織がどうのこのうのという意識はあまりありません。しかし「自分が何をしたいのか」「どういうビジョンや目標があるのか」ということが、女性にはちよつと足りないんじゃないかと思えます。「何となく上を目指そう」ということはありますが、ある程度であきらめてしまう。

とくに若い人たちは、女性でも男性でも、自分はこの仕事をやっていればいい、管理職にならなくてもいいという人が多いようです。だから



女性管理職には責任を委譲して、経験を積ませ、自覚を持たせることにしています。人間関係とか、嫌なことを体験していかないと、上に行ってもなかなか務まらないことが多いですからね。

経沢 女性は、枠を越えて仕事をしようとする習慣とか考え方が、確かに欠けている部分はありますね。私

もスタッフに指導するときは「もつと上を見るように」「広く見るように」と常に言っています。

社会の中で、日本の女性がリーダーになるという経験が少ないので、まだそこが勉強不足だと思っています。齋藤 わが社は旅館ですので、女性が活躍する職場で、役員の3分の1は女性です。すごくまじめにこなしていますし、男性と同等ぐらいにやっています。

私は、男女とも、能力はほとんど変わらないと思っています。むしろ意識の差のほうが大きいのもかもしれません。あえていうなら筋肉力の差、そして子どもが産めるか産めないかの差だけです。

これからは性差ではなく、適性で振り分けられる時代だと思います。

福島 お子さんがいて働くというのは、女性は男性より大変だと思えますね。妻であり、主婦業もやらなくちゃいけない。母親であり、仕事もあり、四役ですよ。

経沢 私の会社にも4割ぐらい働く母親がいます。私の子供も0歳と1歳です。今はまだ大変なことはないですが、これからいろいろあるので



は、と思っています。

ただ、私は夢を持って働いているので、子どもも夢を持って生きて欲しいな、と思うんです。一緒にいることは普通のお母さんよりはできないかもしれないけれども、何か悩みが発生したときに、たぶん私なりの経験で、それを伝えて、正しい方向、選択肢を与えてあげることができません。それが、私なりの子育てのスタイルだと思っています。

人口減社会に対応した経営とは

司会 昨年から言われていますが、人口減社会、少子化の問題、超高齢化社会、2007年問題などをふまえて、何か特に企業として対応されることが、ありましたらお伺いをしたいのですが。



福島 今、私どもが具体的に取り組んでいることは、ポジションによってですが、高齢者の方を結構採用しているんですね。さらに、定年退職した後も、再雇用制度によって、また勤務していただいています。いろいろ専門的な、あるいは特殊な職業が私どもにはたくさんあるんですよ。そういう方は年齢に関係なく、雇用していききたいというのがありますね。それから、日本全体で考えると、主婦の方にどんどん働いてもらわないと国力が落ちていきます。人数が減れば売上も減ってくるわけですから。

また、結婚しても、あるいはお子さんが生まれても、働きやすい環境や制度も計画しています。

ただ、特に女性だから男性だから、それによって制度を変えろということ

とはいいですね。同じ制度でともに頑張ってもらうことが大切だと思います。

経沢 私は例えばフランスの出生率が上がったように、日本も文化的な思想的なものによって、出生率を上げることができるとは思いません。私には社員に対して、産んだほうがいいと言うし、両立できるような、いろいろな選択肢は用意したいと思っています。

齋藤 大企業においては、少子高齢化で、どうしても子どもを産んでもらおうと、産休や育休が義務化になりつつありますよね。

中小企業では、なかなかそこまで負担するのが難しいです。まず国の施策として、中小企業を援助することが必要になるのではないのでしょうか。それで、企業も努力しましょうという両輪でいかないと、中小企業はともついでいけないと思います。

経沢 私も、毎年子どもを産んでいた。ただ、今はこれだけIT化されているので、いなくても情報を伝える手段はたくさんあったり、会社がある程度システムティックにでき

ば、仕組みによって、その人でなければならぬということが、カバーできる部分があります。それを経営者は常に考えていないといけないですね。

女性が働きやすい会社は、決して女性に対してやさしい会社ではないと私は思っています。どれだけ成長させてあげるかということ、どれだけチャンスを与えてあげられるか、それによって本人そのものが強くなるとか、会社そのものが強くなるということではないでしょうか。



女性会のネットワークと

知恵の活用を

齋藤 人口減少社会において、逆三角形で高齢者が多くて若い人が少ないから、年金問題でも何でも苦しくなります。それを過ぎたときに、特

化した、差別化した製品をつくったり、素晴らしいサービスやソフトをつけていくことで、キラキラと輝く、小さくてもいい国になって欲しいと思います。

従業員に関しては、当社も福島社長のところと同じで、一度定年になった方を再雇用し、かなり細かくパートの人、近所の人などを区切って働いてもらっています。洗い場のようなどころでは、働く時間が3時間でも4時間でもいいという人にお願ひしています。フルタイムでは疲れてしまう、でも半分の時間ならできる、そうすると、家庭を持ちながらでも働いていきます。そういう社会になるのでしょね。

東京商工会議所女性会には500人の会員がおりますが、経営者の人たちがいろいろ悩みを持ち合い、知恵を分け合います。私も若い方たちから元気をいただいています。またネットワークの中には、ビジネスチャンスもあります。このような場を作っていけることが、女性会の意義ですね。

(文・奥山 睦)

(写真/取材情報提供・東商新聞)

東京商工会議所 女性会 平成18年新年懇親会

1月26日東京プリンスホテルパークタワーにて「平成18年東商女性会新年懇親会」が開催されました。

はじめに開会の辞を山野壽子副会長から、次に齋藤朝子会長より次のような新年の挨拶がありました。



「昨年我が国では子どもの出生率が過去最低を更新するとともに総人口が初めて減少するなど、これまで経験したことのない少子高齢化、人口減社会に突入しました。そして経済のグローバル化、高度情報化など我が国の社会経済情勢が急速に発展する中で女性をとりまく環境も急激

に変わってきており、女性があらゆる分野に進出し、女性パワーが日本の社会経済におよぼす影響力がますます高まってきております。東商女性会では約500名の女性経営者の皆様が業種、年齢を超えて会員相互の交流と結束をはかり幅広いネットワークを構築しております。特に、昨年の関東商工会議所女性会連合会総会東京大会では東商女性会会員のご支援ご協力により、各界からのご来賓をはじめ総勢1200名の皆様をお迎えし、盛況の内に成功させることができました。さらに昨年から多く



問題

委員会を発足させ積極的に取り組んでおります。本日ここに出席しておりますすべての方々にとって素晴らしい一年でありますよう祈念しております」

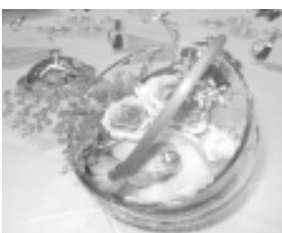


続いて来賓の皆様よりご挨拶をいただきました。はじめに日本・東京商工会議所山口信夫会頭より「今年の商工会議所は実行する・信頼される・愛される商工会議所をめざしております。そのためには女性会の皆様のご協力が必要です。今年も一緒に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします」とのご挨拶をいただきました。そして内閣府男女共同参画局名取はにわ局長から「昨年末に新しい男女共同参画基本計画ができました。女性の再チャレンジ支援策を進め、女性の継続就業型を目指して考えており、女性の起業支援もあわせて進

めて参りたいと思っております」

最後に東京都生活文化局男女平等参画担当生形稔参事より、「東京都の男女共同参画計画では女性と男性、仕事と家庭、都民事業者と都の3つのパートナーシップを柱としております。東京都の一昨年の出生率は1.05となり危機的状況を迎えております。さらなる子育て支援策を進めて参りますので、一緒に男女共同参画社会に向けて頑張りましょう」とのご挨拶をいただきました。

(記・椿 克美)



懇親会の部

はじめにアトラクションとしてミニ・コンサートが開催され、世界的に活躍するサイ・イエングアンさんにオペラ「魔笛」等のすばらしい歌声を披露して頂きました。

引き続き、東京商工会議所女性会小泉清子名誉会長の「今年は戌年です。積極的においに発言し、行動し、美しい日本を作り上げていきましょう。」という乾杯の挨拶で懇親会が始まりました。

そして総料理長によるメニューの紹介の後、和やかな雰囲気とおいしい料理に各テーブルとも会話が弾んでおりました。



続いて齋藤朝子会長による女性会正副会長の紹介の後、渡辺光子副会長により、交流・研修・情報広報担当の各リーダー、チーフサブリーダーの紹介がされました。

山崎登美子副会長により名誉会長、常任顧問、顧問、相談役および常任理事、理事、監事の紹介の後、新入会員の紹介、永年にわたり女性会に貢献いただいた方々への花束贈呈が行われました。

続いて皆様お待ちかねの恒例の抽選会では、会場である東京プリンスホテルパークタワーよりご寄贈の宿泊券をはじめ常任顧問・顧問・相談役の皆様方よりご寄贈の商品券、宿泊券などの豪華賞品が会場前部に飾られ、当選者が発表される度に会場のあちらこちらで歓声と拍手が聞かれました。小泉清子名誉会長ご寄贈の訪問着は、みごと山口玲子常任理事が手にされました。山口玲子常任理事からは「信じられない。今までの努力が全て報いられたような気持ち」との感激の感想が聞かれました。

帯が当選されたゲストの山野勉



からは「家内がたいへん喜ぶでしょう」とのご感想を頂きました。

宮田久美子会員のスピーディーな司会でたいへん盛況となった抽選会も終わり、吉川稲美副会長より「想像を超えた災害や道徳感の欠如が引き起こす事件が多い昨今、次世代のために感謝の思いを持って品格ある国家を取り戻すべく思いを一つにし、行動を起こすことが私達女性経営者の使命と責任である」という閉会の挨拶があり、平成18年新年懇親会も盛会の内に幕が閉じられました。

(記・鈴木紀子、石野康子)

出席された新入会員のコメント

㈱ハレキタザワ 北澤美和 様

とても華やかな会で、刺激を受けました。会報などを読んで勉強して頑張ります。

㈱フクシン 福岡初枝 様

大勢の先輩女性達が頑張っているのだから驚きました。経営について語りあえる友人を作りたいです。

銀座コクリコ美容外科

木村久理子 様

将来、皆様のように熱く語る女性になりたいと思いました。同じ女性として分かち合えるものがあればと思います。

Kプランニング 木原啓子 様

皆様にエネルギーをもらって、やる気ができました。環境問題など社会貢献に女性会として取り組んでいけたらと思います。

このみフラワー 子安木美 様

たくさんの方の働く女性の先輩方の活力や魅力あるパワーをたくさん頂きました。すばらしい方々との出会いに有意義な時間を過ごしました。

(記・椿 克美、鈴木紀子)

視察交流会 平成17年10月4日

亀田メディカルセンター見学会



風光明媚な鴨川の、映画のワンシーンの様な海岸に、今回見学の亀山病院は在ります。代々が地元のお医者様とおっしゃる亀山病院長から、良質な医療と入院環境は高額で提供されるとは限らないという、熱意のこもったお話を伺いました。

続けて建物最上階で絶景を眺めながら、院長ご参加で季節の和食膳の昼食です。その後、アメニティが充実し、セキュリティと患者様（院長は常にこうおっしゃる）のプライバシーが確保された院内と、女性専用フロアを中心に廻りました。会員の質問も熱心です。

皆様納得の様子でバスへ。
ツアーはまだまだこれだけでは終わりません。藤野会員紹介のハートフル鴨川を、車窓から見学した後、釣瓶落しの秋の陽に急かされながらも、「杉山農園」で瑞々しく大きな新高梨を狩り、「花ほたる」でコスモスを摘んで夕闇の東京湾アクアラインへ。楽しく無事に東京到着です。真に東商女性会らしい、花も実もある交流の一日となりました。

(記・交流担当)

第4回研修会報告 平成17年10月28日

『美道五原則』に則った基本原則と株式会社ヤマノホールディングコーポレーションのM&A戦略



ヤマノホールディンググループ
社主 山野 敬子氏

山野敬子様は、山野愛子様のご三男、彰英氏とご結婚されて以来、ヤマノグループの経営に尽力してこられました。

ヤマノグループの企業理念「衣・食・住・遊・学」の美道五原則」を基本に、企業発展のためのM&A戦略のあり方、少子化や高齢化がこれからの経営に与える影響など、幅広いお話も伺うことができました。ヤマノ流経営では、M&Aも、今騒がれている《敵対的企業買収》ではなく、人員整理や雇用調整を行わず、対象企業に自主独立経営を促す《融和的企業買収》を行います。買収される側の社員にとって、どれほど安心につながる事でしょう。

お客様に喜ばれる《高付加価値販売》を促進する事も大切な事なのですと結ばれた山野様に《価値組》のリーダーシップの心得を学ばせて頂きました。また、その暖かな笑顔と凛とした心にふれて、元気と勇気も頂きました。

(記・研修担当)

第5回研修会 平成18年2月27日

生涯現役！ 若さを保つ食生活



飯塚律子ヘルスフーズ研究所
主宰 飯塚 律子氏

大変興味深いテーマから当日は70名近い方々がお集まりになり、飯塚先生のお話真剣に耳を傾けておられました。

21世紀は遺伝子治療の時代と言われており、遺伝子治療により寿命が40年延びることも夢ではなく、老化現象を防げるといわれていますが、その一方で病気の発生は日常的な習慣が深く関わっており、日々の食生活がさまざまな生理系統を調節し、根本的な治療は食事が基礎となります。また、人間は血管とともに老いるため、血管の老化を遅延させる食生活が大切で、特に酸化・劣化した脂肪には注意をしたいということを、飯塚先生ご自身のご経験や笑いを交えつつお話頂きました。

最後に進歩した今日において最も健康の基本は①腹八分目でよくかむこと。②バランスよく、いろいろ食事をとること。③よく歩き、足・腰を丈夫にすること。④気を整えることなど。とのことでした。

(記・研修担当)

女性経営者ミーティング in 柏崎 「電気がむすぶ交流の輪」

首都圏エネルギー懇談会主催による電力生産地と消費地、双方の女性経営者交流として、『女性経営者ミーティング in 柏崎』が平成17年11月2日・3日の両日、新潟県柏崎市で行われました。

雲ひとつなく晴れ上がった秋空の下、東商女性会出席者30名を乗せた新潟新幹線「MAXとき311号」は、長岡に向かって出発しました。

11月とは思えない暖かさの中、柏崎刈羽原子力発電所へ向かうバスの中では、齋藤朝子会長より「最大の電力消費地である東京の住人としてのどのように生産されているのかこの



目で確かめたい」との挨拶がありました。

日本海を望む柏崎市、刈羽村に跨る敷地約42万平米に昭和53年沸騰水型原子炉1号炉が東京電力により着工されました。総工費2兆6千億円。

現在の7号機まで、100%関東圏への電力生産のため24時間稼働しています。先日の新潟地震でもセンサーが感知しなかったほど強固な地下45メートルの岩盤の上に建設されています。

金属探知機を通過した後、一人ずつ立ち入り許可証をかざしてブースを通ると、更にカプセル状の出入ゲートが待ち構えている様子は、さまざまなスパイ映画のよう。6号機タービン室に入ると、巨大な羽車が蒸気力で1分間に150回転し、135万キロワットの電力が作られて瞬時に関東圏に送られます。原子炉建屋では外部より0.2気圧低くなっており、まんがいち、壁に穴があいた場合は内気が外に出ないようになっています。



た。年に1回の点検では燃料棒をカプセルから取り出し空気に触れないようにプールに入れ、3年間冷却するそうです。発電所の心臓部である運転室では、6班体制で24時間運転操作と監視が行われていました。発電所内の緊張感漂う無機質な通路のあちらこちらに、発電所関係者の描かれた書画、撮影された写真などの作品が展示されているところに心とまされました。

原子力発電所と聞くと思い浮かぶ「危険」の文字が払拭されるほど「安全」への配慮が幾重にもなされている事が、当たり前とは言いながらも深く心に残りました。

柏崎市内で新潟銘酒『越の誉』の蔵元原酒造を見学の後、『女性経営者ミーティング in 柏崎』の会場である『メトロポリタン松島』に入りました。

柏崎商工会議所女性部、刈羽村商工会女性部、福島県相双地区商工会女性部連合協議会、そして東京商工会議所女性部のメンバー併せて67名、ゲストコメンテーターとしてダニエル・カール氏を迎え『井戸端交流会』と銘打ち「原子力発電所を見学して」

「女性の目から見た地域間交流」をテーマに、肩肘の張らない意見交換が行われました。各地域の代表からは、それぞれの地域自慢が披露され、ゲストのダニエル・カール氏からは日米エネルギー事情の比較等が紹介されました。

続く交流懇親会では、日本海の幸と銘酒、お米「コシヒカリ」に舌鼓を打ち、勇壮な「日本海太鼓」を拝見聴し、交流を深めることができました。翌日は昭和22年に昭和天皇が行幸された柏崎史跡の飯塚邸を見学して新潟を後にしました。

電力を通じて生産地と消費地の女性会会員が直接交流する機会を与えられた事に深く感謝し、意義深い視察交流会を終えました。

来年は福島原子力発電所の視察が企画されているそうです。

(記・石野康子)

東京武蔵野・町田商工会議所女性会共催 女性経営者支援事業 チア！ ビジネスウーマン2005 in 東京

『明日を拓く女性リーダー』女性
の働き方の変化と新たなチャレンジ』

11月9日、東商ビル7階の国際会議場で、新しい女性リーダー像についてのシンポジウム「チア！ ビジネスウーマン 2005 in 東京」が開催され、「女性リーダー」にテーマを絞り、各界代表の方々に本音やポリシーを語っていただきました。



まず、東京商工会議所女性会齋藤朝子会長より開会のご挨拶があり、働く女性のあり方や女性の社会進出についての話をいただきました。

基調講演

基調講演は『オープン&フェアネス』が目指してきたこと』というテーマで株式会社リクルート特別顧問の河野栄子氏よりお話いただきました。株式会社リクルートのビジネスモデルの説明の後に、「私は小さな頃からの創意工夫・効率重視という点が、ビジネスにおいて有効に働き、なにかと『初の女性』という状況であったことが多かったように感じています。時間を無駄にしないので、効率よく仕事をすることを第一に考えていますから、基本的に残業はせず、趣味の時間に充てています。仕事ではアウトプットだけでなく、インプットの時間をとることも大切だからです。その上で現在は『質と効率』を追求し、社内の業務改善に尽力しています。当社で



は『自己実現』を考えている人が多いことを鑑み、社内の『キャリアWEB(仕事の社内採用制度)』『セカンドキャリア支援(本人のキャリアを積極的に支援し、退職時引き止めないが、再チャレンジも可)』などを行い、個と組織のオープンでフェアな支援事業を展開しています」とのお話をいただきました。

パネルディスカッション

基調講演の終了後にキャスターで千葉大学非常勤講師の木場弘子氏のコーディネートとして、株式会社インテグレックス代表取締役の秋山をね氏と株式会社資生堂取締役執行役員岩田喜美枝氏でパネルディスカッションが行われました。

まず、ビジネスリーダー・女性・母としてどう努力しているか、という木場氏の問いかけに対し、岩田氏より「子育てにありとあらゆるサービスを使った。子育ては楽しかった人生を豊かにしてくれた。」との発

言。続いて、女性のビジネスリーダーの資質については秋山氏より「ビジネスに男女の関係はなく、志・理念を持つことが大事。女性は、『より生活者』だから、その視点をビジネスにどう繁榮させていけるかであると思う」という発言がありました。

続いて女性リーダーの進むべき道とはというテーマには、秋山氏より「ビジネスリーダーは何をやっているのかを明確にしなければならぬ、私はそれが社会貢献につながって欲しいと思う。そのような思いを共有してくれる仲間を育てている」

そして岩田氏より「仕事はとにかく自分の任務を全うし、評価を受ける人を増やしてそれを語り継いで欲しい。企業内の働き方は誰にでも関係のあるものと理解して欲しいから『ライフワークバランス塾』というものを主催し、企業の成長の源泉を育てている」と立場・年代が違う2人のパネルからの体験談を踏まえた貴重な話をいただきました。

最後に町田商工会議所女性会荒江志保子会長より閉会の挨拶があり、シンポジウムは終了いたしました。

(記・林和恵)

関東商工会議所女性会連合会
東京商工会議所女性会

平成18年3月2日
(東商・国際会議場)

共催講演会

弁護士 住田 裕子氏



関東各地から400人を超える会員が集いました。講演に先立ち、小泉清子関東商工会議所女性会連合会会長の挨拶。続いて講師の紹介。TV番組「行列のできる法律相談所」等に出演されている注目の女性弁護士です。

10キロ減量のいきさつと成功秘話

出演しているTV番組で、突然10キロ減量企画を持ちかけられ、2ヶ月にわたり「知的で美人の弁護士」としてチャレンジ。「女性の興味は、まずはダイエットですよね？」と、成功の秘訣を具体例を交え、筋肉トレーニングの重要性などわかりやすく説明して下さいました。

「ワークライフバランス」≪女性の社会進出と少子化や諸問題の関係

次に女性の意識や価値観が日本で変わりつつあることに触れ、今や女性の社会参加は男性と半々の意識である一方で女性が社会参加することによって「少子化」が助長されているかのような捉え方がある。しかし調査結果では安定した職業に付いている人の出産率が一位であり「ワークライフバランス」≪男女が共に良いバランスをとりながら家庭を築き、社会を構成していくという考え方の大切さを解説。

日本での女性の社会参画はデータ上でも、諸外国に比べ大変な遅れであり、少年犯罪が増えつつあることは、家庭での規範教育がなされていない点を指摘されました。父親が家庭に関わる時間は先進諸外国からみても少なく、わずかな時間でもよいので子供に規範を語り、母親は温かい家庭環境をつくり、幼児期にはス

キンシップを、どんな小さなことでも誉めることが大切。愛情あるしつかりとした家庭には少年犯罪は起きないとの考え方を示されました。

「ダイバーステイ(多様性)」≪様々な考え方を積極的に受け入れる環境

国連の統計による国際的な格付けでは、女性の活躍度が低い日本は国際的な競争力が低いとされ、資源が有効に活用されていないとみなされています。「ダイバーステイ(多様性)」≪違った見方のできる人材がたくさんいるという環境は、社会全体や企業にとつて、様々な検討の機会があり、新しいものを生み出す力や活発な経済活動に繋がります。女性経営者のみなさんも社会に多様性を生み出す意味で活躍をし続けていただきたいと述べられました。

熱のこもった講演後の質疑応答では、ご自身が子育てに一番苦労された点、男女の賃金格差についてなど熱心に語って下さいました。齋藤朝子関東商工会議所女性会連合会副会長より、閉会の挨拶で終了しました。

(記・八木美重子、安井啓子)

超電導リニア

モーターカー試乗会

3月16日

時速500km体感!

未来、技術完成へ!〜

穏やかな春の陽光の中、30名の参加会員で出発。中央自動車道に入つて全員自己紹介後は車中で歓談。10時過ぎに大月市の山梨県立リニア見学センターに到着しました。3階展望室よりあつという間に走り去る走行を見学しました。

その後はいよいよ試乗会。時速500kmの浮上を体感。トンネル内の灯りがすべて带状に見え、カーブを走る時には車体が5度傾斜し、車内で水平を保つ体感をしました。



昼食は峠の茶屋「ささご」で。後に白百合醸造のワイナリーで試飲やミニ講座を満喫、帰路につきました。

(記・八木美重子)

東商女性会 3 担当活動紹介と今後の活動方針

宝庫の扉を開けてより良い
経営指針の糧を



研修担当リーダー
松本 和子

東商女性会は真にお宝の山でございます。正副会長をはじめとする輝く経営者が多数ご在籍されていらっしゃいます。平成 17 年度の研修会は、齋藤朝子会長、山岡富美江常任理事、久家道子常任理事、岩宮陽子社長、山野敬子会員のご講演を賜り、諸先輩方の経営に関する貴重なお話を伺いすることができました。

全ての講師の方々から、それぞれ貴重な体験談や、様々な経験からつちかわれた経営への信念をうかがい知ることができ、参加者は改めて諸先輩の皆様に対する尊敬の念を再確認するとともに、何か一つでも経営

に関するヒントを得ることができたかと存じます。研修会は担当委員が議論に議論を重ね講師の選定から進行内容についてまで、じっくりと検討し実現の運びとなります。

今後の研修担当の活動としては、吉川稲美副会長、山崎登美子副会長、安間百合子副会長のご指導の下に、経営に関する問題を提起し、意見交換を行い、少しでも会員の皆様において立つ情報を提供していきたいと存じます。



会員参加型情報広報活動を
をめざして



情報・広報担当リーダー
石野 康子

昨年の秋より、600 名会員を目指しての新たなパワーアップ事業が始められました。情報広報担当と致しましては全会員の皆様に的確な情報をタイムリーにお伝えすると共に、会員の皆様がホームページや『東商 LADY』の誌面にご参加いただけるよう相互作用の働く活動を心がけております。又、女性会の存在を外部にアピールし会員増強に役立つ様な媒体作りを企画しております。その一歩として、年頭より 2 年ぶりにホームページをリニューアル致しました。ウェブ上からの行事・会議の申し込みを可能にし、多数の写真をご

覧頂けるアルバムのページも出来ました。トップページに多くの情報を盛り込み、外部からの検索にかかるよう工夫いたしました。特にセキュリティ面はより一層注意を払って参ります。『東商 LADY』は会員の皆様にご参加頂ける記事を増やし、楽しんでお読み頂ける、自社 PR にも役に立つ誌面を目指しております。現在はホームページ・『東商 LADY』の 2 本立てで活動しておりますが、情報広報委員会発の新企画も実現できるよう努力して参ります。全て手作りの制作ですので、情報広報委員会に是非ご参加頂き、御協力、御指導を頂きますようお願い申し上げます。



交流の輪が
女性会の大きな輪に
なりますことを願って



交流担当リーダー
山口 玲子

東商女性会の大きな3つの担当事業の一つであります交流を担当させていただきます。早3年目を迎える事となりました。この間、交流担当のメンバーの方々を始めと致しまして、会員皆様に多大なご協力と励ましを頂戴いたしました事をまず御礼と共に心より感謝申し上げます。

昨年度には18代目中村勘三郎丈の歌舞伎座襲名披露公演で幕を開け、続けて10月にはホスピタリティ溢れる温かい心と情熱で患者の皆様への予防と治療にあたっていらっしゃる亀田メデイカルセンターを訪問し亀田院長のお話、そしてメデイカルセンター内見学と非常に貴重なひと時を過ごすことができました。また今年

の年明けには女性会最大のイベントの一つでございます新年懇親会を華やかな中にも盛大に開催させて頂きました事は、改めて女性会の皆様の素晴らしいパワーを拝見させて頂いた思いでいっぱいでございます。この後も交流事業と致しまして、J R 東海リニアモーターカー試乗会、そして国会議事堂見学を予定致しております、今後も交流担当全員で知恵と力を集結させまして、会員皆様の交流、親睦のお役にたてますよう一生懸命に尽くさせて頂く所存でございます。今後とも皆様のご協力を頂戴出来ますよう何卒宜しくお願い申し上げます。



組織基盤強化活動『パワーアップ2005-07』
第1回実行委員会

平成17年11月21日(月)17時より東商ビルにて組織基盤強化活動『パワーアップ2005-07』第1回実行委員会が開催されました。本委員会は9月7日(水)のキックオフ&懇親会を受け、組織基盤強化活動の実行委員に就任した43名が参加し、これからの活動の方針について話し合いを行いました。実行委員会の始まりに際して齋藤朝子会長より「皆さん、経営者仲間の輪を広げるため、そしてよりよい女性会を築くため、600会員体制という目標を目指してがんばっていきましょう」という力強い挨拶がありました。続いて事務局より本活動の概要や目標会員数等について説明があり、担当副会長ごとのグループに分かれ、各グループのエリアリーダー・エリアサプリーダーの選任、勧誘方法、



活動方針等について話し合いが行われ「組織基盤強化活動の本格始動」を感じさせる活気溢れる会議となりました。
(記・相坂柚火子)

組織基盤強化活動『パワーアップ2005-07』 グループ担当副会長と担当エリア					
小林副会長	渡辺副会長	安間副会長	山野副会長	山崎副会長	吉川副会長
港区	世田谷区	新宿区	中央区	文京区	千代田区
品川区	渋谷区	豊島区	墨田区	台東区	荒川区
目黒区	中野区	板橋区	葛飾区	北区	江東区
大田区	杉並区	練馬区	江戸川区	足立区	



古紙問屋
株式会社 木場リサイクル
代表取締役社長 新井 英希氏

■業界では稀な女性経営者

木場リサイクルは江東区木場に位置しています。26年前社長であったご主人が亡くなられ、その後を継いで英希夫人が代表取締役に就任しました。関東圏には150社の古紙問屋がありますが、業界ではめずらしい女性経営者で、当時35才のときです。

■業務内容

古紙の回収には、住民が行う「集団回収」、行政の「資源回収」、新聞販売店の「新聞販売店回収」などがあります。それらの専門業者が回収して、持ち込まれた古紙を買い入れます。紙の種類ごとに手作業で選別し、品質確認後古紙梱包機（プレス機）で、品種ごとに100kgから120kg程度に圧縮し、番線で梱包します。梱包された古紙は品種に応じて製紙メーカーに納品します。

■企業理念

常に感謝の気持を持って、お客様が満足する高品質の品物を提供する。

■過当競争に勝つための工夫

いかにクオリティの高い品物をお客様に提供できるかが勝負。そのために、選別の研修・教育を徹底し、毎日終礼をかかさず、社員との報告会を行なっています。さらに毎年テーマを決め課題に取り組み、今年のテーマは「プレスした品物をいかに荷崩れなく製紙会社に運ぶか」です。また、回収業者には、自社を選んでもくれたことに感謝し、接客を気持ちよく笑顔でスピーディに受け入れるよう心がけています。

■ペーパーレス時代の影響と

海外との関わり

ペーパーレス時代と言われ、OA化が進み紙の使用量が減少するかと思われていましたが、雑誌、DM、折込チラシ、通信販売用の本、パソコンなどのマニュアル本、FAX・コピー用紙など、逆に使用量が急増しているそうです。古紙はほとんど

国内のメーカーを中心としていますが、経済の発展が目覚ましいにもかかわらず、古紙が不足している中国や東南アジアの国々へ、日本から年間約200万t以上を輸出しています。

■リサイクルに望むこと

家庭や事業所から出される古紙は、異なった種類の古紙を混ぜないよう心がけてほしい。異物混入によってせっかくの資源が、ただのゴミとなってしまうので、出す側の一人ひとりが自治体の指示に従ってルールを守ってほしい。古紙製品は特に安いというわけではなく、いので、できるだけ古紙製品の購入が増加すれば低価格で消費者の方も買いやすくなる筈です。



■社会貢献

修学旅行で来た中学生などの見学を受け入れたり、職場体験学習など

の実習を行い、学生には古紙回収率や利用率の変化などの説明後、選別作業の実習を行います。実習を終えた生徒たちから、



「資源ごみの出し方に気をつけるようになった」、 「エコマークの商品を買うようになった」などのお礼の手紙が送られて来るそうです。少しでも古紙リサイクルのことを理解してもらえればと考えているとのこと。また、ISOを取得するための企業リサイクルの指導に向くこともあるそうです。

■後継者について

30代のご長男は、現在大手メーカーに勤務。どうしても後継者にといいこうだわりは持っていないとのこと。本人が望めば社会経験を積んでから後継者にと考えているそうです。（記・大津洋子 写真・石野康子）



製造業
株式会社 フジ
代表取締役社長 阿部 千恵子氏

■業界では稀な女性経営者■

1968年創業のフジは、中浦和でダンボールや箱などの包装用資材の販売会社でした。たまたま隣接の接着材メーカーのコンシから、木工用ボンドの充填の依頼があり、充填加工業を開始し、現在に至っています。15年前社長であったご主人が亡くなられ、当時専業主婦だった千恵子氏が後任の社長に就任しました。その頃は女性社長ということで苦労も多々あったが、社員や周囲の方の協力で業務を拡大し、現在ではコンシ協力会社の会(ボンド協栄会)の副会長を務め、手広く活躍されています。

■企業理念■

創意工夫でお客様第一主義を徹底。

■業務内容■

赤いキャップに黄色のボディでお

馴染みの木工用ボンド、これはコンシのブランドで、コンシのパートナーとして、フジが充填し商品化しています。数十年前コンシから依頼を受けて以来、木工用、金属用、ゴム用プラスチック用等、今では100種類以上の接着材を商品化。



本社は渋谷区松涛にあり、製造工場は中浦和に自社工場を構えています。

■商品の企画開発■

信頼の高いコンシ製の接着剤を、安全で使いやすい容器に納める充填技術や、商品力を高めるためのパッケージ作りは、時代とともに高度化・高質化が求められているそうです。フジはさらに使いやすさを追求し、研究と創意工夫を重ねてきました。

また、PRのために阿部社長自身のアイデアで、木工用ボンドのミニチュアストラップを造り上げました。さまざまな形の粘土をフライパンで焼いて煙で煙探知機が作動し、大騒

ぎになったこともある苦心作です。これでコンシからは社長賞を授与されました。今後は自社ブランドで海外進出を考えているとのこと。

■品質管理■

コンシは「品質第一」が信条で、フジでも社内ではビデオ学習や実習を行い、「報・連・相」で情報の共有化を図っています。品質の確保のため同じ敷地内のコンシからパイプラインを通して送られてくる原料を、常に一定の温度を保つようコンピユータで24時間管理をし、そうした努力でコンシのQC賞を毎年受賞されています。



■社会貢献■

さいたま市の小学校3年生の社会科の教科書には「接着剤ができるまで」が紹介されています。フジ工場では見学者の安全を考え見学通路を

設け、年間100名ほど訪れる地域の小学生を受け入れているとのこと。子供たちからはお礼の作文集などが送られて来ている。



■後継者について■

前社長が亡くなられた時、アメリカに留学していたご長男が帰国後3年ほどコンシに勤務されたのち、フジに入社しました。現在専務として中浦和の工場を全面的にまかされ、阿部社長の右腕となって活躍。後継者としても期待されています。今回の取材にあたり協力していただきました。

(写真/記・大津洋子)

ぶらり東京の旅

「千鳥が淵のさくら」



在位60年記念で植えられた約20年位の比較的若い桜です。北の丸の正門から千鳥が淵の桜のトンネルは100年以上経っているように見えますが昭和30年に植えられたそうです。桜の寿命は約60年という事ですが、悪い所を切るとそこから新しい芽が出てきてさらに60年、120年となるそうです。季節になり千鳥が淵から反対側の土手を見ると緑の草花、松の木、水に映った桜、それはすばらしいパノラマです。

今回は皆さんのよくご存知の「千鳥が淵のさくら」を訪ねてみました。明治31年に英国の駐在公使アーネスト・サトウ氏により千鳥が淵の所にある英国大使館前に5本の「ソメイヨシノ」が植えられました。

その後、大正8年12月に東京市(現東京都)に数百本寄付されたといわれ、千鳥が淵から周囲へと広がっていったともいわれています。地下鉄半蔵門線・東西線九段下から徒歩3分ほどのところが牛が淵周辺。こちらの土手に植えられているソメイヨシノは、昭和天皇御

ここは、皇居の北側に位置する公園でこの辺一体はガーデン道路になっています。九段坂から内堀の方を見ると、千鳥が淵を広げた形に似ているという事で千鳥が淵と名前がついたとか・・・？桜の本数は千鳥が淵ルートで約1082本。今回の取材で千代田区役所の公園管理課の方達が、大切に桜の管理をされているお話を聞きとても感謝しました。皆さんもそんな桜の歴史を浮かべながら、今年の千鳥が淵を散策されてはいかがでしょう！

(記・保田和江)

第7回「ゴルフ同好会」コンペ



10月14日(金)千葉県「グレートアイランド倶楽部」で24名の参加で行われました。前日まで大雨でしたが、当日はすばらしい晴天に恵まれ、伊藤園レディーストーナメントの行われる美しいコースでのプレーは最高のゴルフ大会でした。今回は東京駅から貸し切りバスを用意し、24名の参加となりましたが、ゴルフ場との往復の時間はまるでバス旅行のよう楽しい時間でした。グレートアイランド倶楽部は伊藤園様のゴルフ場で、大変お世話になり、沢山の賞品をご寄付頂きました。終了後のパーティーでは、成績発表、表彰式等を行い懇親を深めました。優勝は山本晴留巴さん、準優勝は初参加の今野由梨さん、3位は同じく初参加の松平洋史子さんでした。

同好会会員も現在52名となり、これからも益々楽しい同好会となるよう皆さんのご協力宜しくお願いします。

(記・保田和江)

くらぶ倶楽部同好会 例会



9月28日開催
「エスニック料理をつくる」
西麻布のキッチンスタジオで、会員自身が料理を作る新しい試み。エプロン姿でキッチンに立つメンバーの姿は新鮮です。安間副会長ご提供の多種のスパイスを使い、見事に短時間で豆カレー、ハヤシライス、サラダ2種、デザート、カナッペなど数々の料理がテーブルに並びました。食事は普段聞かれない料理談義に話が弾み、楽しい一夜となりました。

(記・石野康子)

2月19日・20日開催

「美術と音楽、温泉を堪能」

初日は真鶴半島で漁師料理を味わい、中川一政美術館で純真無垢かつダイナミックな絵画を鑑賞。その後、奥湯河原へ。齋藤朝子会長より「つばきの歴史と品種、逸話など、海石榴の由来ほか」講演を拝聴。夕食と懇親会。会員のピアノ弾き語りなど、至極の時間を。翌朝は朝食後に解散。初めての1泊例会。食事・美術・音楽そして講演と盛沢山の例会でした

(記・佐原泰子)



■メディアに登場■

関南淑会員●『自然医学』（平成17年10月号）に「キムチに託した日韓交流への想い」が掲載されました。

水上響子会員●テレビ朝日『ドスペー』（平成17年10月29日放映）の三大死因病特集で、医療法人社団赤坂パークビル脳神経外科が取り上げられました。

奥山睦会員●NHK『くらしと経済』（平成17年11月12日）の「自宅で手軽に！パソコン内職大研究」と東京メトロポリタンテレビ「東京の10年産業の空洞化、その後」（平成17年12月6日放映）にコメントーターとして出演されました。●『週刊ダイヤモンド』（平成17年12月24日号）に著書「メイド・イン・大田区」が「2005年ベスト経済書」の第21位に選ばれました。

小林栄子会員●『朝日新聞』（平成17年11月24日）に（株）東京信友による聴覚障害者のための商品開発への取り組みが紹介されました。

出る杭になって打たれてみたい
スマールオフィス
山野井 友子

川柳 俳句

菜の花がいまいっぱいと祖母逝けり
山崎 登美子
陽だまりに透けてゆれるは黄水仙
安井 啓子

星野君枝会員●『婦人画報』（平成17年12月号）に「工芸ギャラリー邁」による企画展「小泉貞子 和刺繍展」が紹介されました。

北澤艶子会員●『中小企業ニュース』（平成18年1月20日）に「愛する母への感謝状」（かんき出版）への寄稿に関する記事が紹介されました。

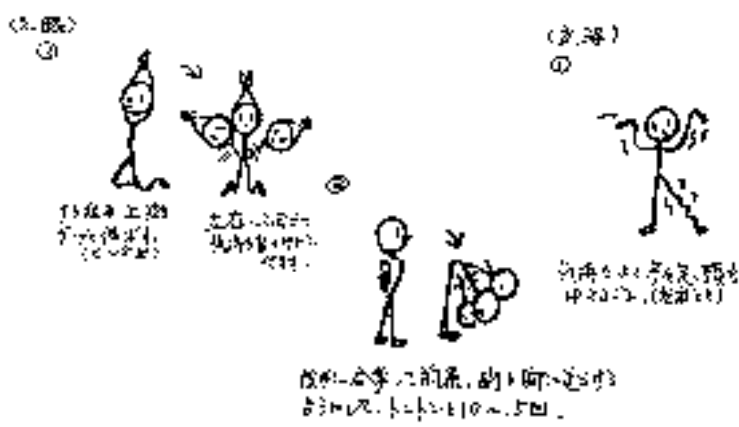
吉川稲美副会長●『労働新聞』（平成18年1月30日号）にコラム「ぶれい考」が掲載されました。●『いっとじゅけん』（平成18年1月号）に、関東経済産業局長の高橋氏、北極しろくま堂の園田氏、との三者座談会が掲載されました。

相坂柚火子会員●『静岡新聞』（平成18年2月20日）の「インタビュー」コーナーで会社の設立から現在の仕事の取り組みについてインタビューを受け、その内容が紹介されました。
木村久理子会員●『美生活』（平成18年3月号）に「銀座コクリコ美容外科」が取り上げられました。

春の健康

（NPO「氣道」井上象英）

美味しい空気を思っきり吸ってゆつくり吐き、お水をたっぷり飲むと宜しいです。



訃報（ご冥福をお祈り申し上げます）
●津寺千鶴子様
（有限会社よろづ取締役）が平成17年10月12日にご逝去されました。（享年81歳）
●瀧原美和子様
（株式会社アマンド代表取締役社長）が平成17年12月16日にご逝去されました。（享年68歳）

東商女性会の今後の主な行事予定

- 平成18年
- 4月14日（金） 東商園遊会
- 4月18日（火） 関東商工会議所女性会連合会総会（甲府大会）〈於 甲府富士屋ホテル〉
- 4月25日（火） 平成18年度 第1回研修会 〈於 東商ビル〉
- 6月13日（火） 東商女性会 会員総会 〈於 東商ビル〉

編集後記

近年にない厳しい冬を乗り越えようやうく花の季節を迎えました。
2002年10月創刊されました東商LADYも、第10号記念号を発刊する運びとなりました。女性会発足以来57年にわたり広報活動に係わられた方々の足跡を省みて、あらためてその歴史の重みと、後世に残る記録を作り上げている責任の重さを痛感しております。

情報・広報担当一覧（敬称略・順不同）

- 副会長：山崎登美子／山野壽子／渡辺光子
 - リーダー：石野康子
 - 井上象英／八木美重子／五十嵐容子／藤沢薫／安井啓子／相坂柚火子／阿部千恵子／志摩淑子／西尾多恵子／保田和江／美安達子／浅野邦子／伊藤淳子／大津洋子／奥永久美／奥山睦／金原好紀／神田妙子／佐藤俊江／佐原泰子／鈴木紀子／田中絢子／竹華静／椿克美／長谷川泰子／林和恵／松平洋史子／水上郷子／宮田真知子
- （平成18年3月末日現在）